

登録コード	UAF53500	開講年度	2026			
授業題目	教授・学習心理学演習				担当教員	植原 俊晴
					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	
				授業形態	演習	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 U Aカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 U Aカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 U Aカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 U Aカリ・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				⇔	教授・学習に関する先行研究や学術論文を批判的に読解し、心理学的な視点から主要な知見や問題点を整理・分析できる。
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				⇔	教授・学習に関連する学術論文や先行研究を、量的データと質的データの両面から批判的に読み解き、その背景にある課題や実践的示唆を整理・分析できる。
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				⇔	授業内のディスカッションを通して、多様なステークホルダーとの連携を意識した解決策を構想し、独創的かつ実践的な提案ができる。
(2)授業の概要	・各回とも教授・学習に関わる論文の内容に対する見解や疑問などを、代表者が発表し、それについて受講者全員でディスカッションをします。発表者は、他の受講者が理解しやすいようにプレゼンテーションを工夫してください。特に、教育心理学的に見いだされた課題などを共有できるようにしてください。また、受講者は積極的に意見を述べてください。ただし、発表者の見解や疑問などを踏まえた上で、自分の考えを述べるようにしてください。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：概念変化について① 第3回：概念変化について② 第4回：誤概念の修正について① 第5回：誤概念の修正について② 第6回：事例効果について① 第7回：事例効果について② 第8回：知識理解の水準について① 第9回：知識理解の水準について② 第10回：知識操作について① 第11回：知識操作について② 第12回：知識操作について③ 第13回：知識操作について④ 第14回：全体を通してのリフレクション 第15回：定期試験（レポート）					
(4)成績評価の方法	・以下を総合して判定します。 発表及び議論への参加（60％）、レポート（40％） ・得点率による評価基準は次のとおりです。 「秀」90％以上、「優」89-80％、「良」79-70％、「可」69-60％、「不可」60％未満。					
(5)成績評価の基準	【卓越している】 教育心理学に関する基礎的な知識に基づいて、教授・学習過程を捉え、課題を見いだし、論理的に思考し、自律的に考え、他者と協働する力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】 教育心理学に関する基礎的な知識に基づいて、教授・学習過程を捉え、課題を見いだし、論理的に思考し、自律的に考え、他者と協働する力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】 教育心理学に関する基礎的な知識に基づいて、教授・学習過程を捉え、課題を見いだし、論理的に思考し、自律的に考え、他者と協働する力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】 教育心理学に関する基礎的な知識に基づいて、教授・学習過程を捉え、課題を見いだし、論理的に思考し、自律的に考え、他者と協働する力を総合して、一定水準にある。					
(6)事前事後学習の内容	・教授・学習に関わる論文を探し発表の準備をしてください。 ・あらかじめ共有された論文について予習してください。 ・ディスカッションを通じて生じた問題について再検討し、他の文献等で理解を深めてください。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。したがって、60時間以上の自主学習が必要です。					
(7)履修上の注意	・受講者の興味・関心により、内容を変更することがあります。 ・心理学分野の学生を対象とした授業ですが、他分野の学生も相談の上受講することが可能です。					
(8)質問,相談への対応	【質問・相談の対応】 在室のときはいつでも。研究室は長野（教育）キャンパス西校舎3階315室です。 【連絡先】 メール：t_uehara@shinshu-u.ac.jp 電 話：026-238-4118					

【教科書】	・特に指定しません。
【参考書】	・学習者の誤った知識をどう修正するか ル・バー修正ストラテジーの研究，2006，東北大学出版会，3,200円（税別）． ・ルール学習と提示事例，2013，東北大学出版会，3,000円（税別） ・思考力を育む「知識操作」の心理学：活用力・問題解決力を高める「知識変形」の方法，2022，新曜社，2,100円（税別）． ・随時，その他も紹介します。